

全国ユース環境フォーラム

全国ユース環境フォーラム キーワードは「インパクト」

全国ユース環境活動発表大会の初日は、国連大学のレセプションホールで、全国ユース環境フォーラムが開かれました。一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)代表理事の辰野まどか氏の進行で行われ、自分の活動を相手に伝え、相手の活動に耳を傾けることにより、最後は高校生の緊張も打ち解け、翌日の本番に向け、大変盛り上がりました。

主催 全国ユース環境ネットワーク事務局
(環境省／独立行政法人環境再生保全機構／
国連大学サステナビリティ高等研究所)

運営 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)



冒頭 アイスブレイキング

ゲストトーク

【世界と起こすインパクト】

丸山氏により、二日間の大会の舞台となる国連大学についての説明がありました。自分たちが翌日発表する舞台が、国連の会議で日本の首相もスピーチを行った場所であるということを知られ、高校生の緊張感も高まりました。

またSDGsに関する映像を観て、自分たちが地道に行っている活動がこの大きなゴールに繋がり、世界の若者と共に大きなインパクトを起こしているというメッセージを受け取りました。

国連大学サステナビリティ高等研究所
プログラムアソシエイト

丸山 鳴氏



丸山 鳴氏

基調講演

【第一次産業と起こすインパクト】

宮治さんが退職し実家の養豚業を継ぐ決意をしたとき、ご両親からは反対されたそうです。そのたびに、一次産業を、かっこよくて、感動があって、稼げる3K産業に！というビジョンを繰り返し説明することで、説得に成功しました。当時から、一次産業で日本を改革することを考えていた宮治さん。想いを口にし、周りに発信することはとても大事だと言います。

よく「将来の夢は〇〇になること」という言葉を耳にしますが、夢は職業とイコールではないとも言います。自分は養豚業者という職業ではありますが、夢はあくまで一次産業を3K産業にすること。そのためにはみやじ豚を一つのモデルとして、一次産業従事者のネットワークにも取り組み、そのネットワークが拡大していくことで一次産業の正のサイクルをつくっていきます。

株式会社みやじ豚 代表取締役社長
特定非営利活動法人農家のこせがれネットワーク代表理事

宮治 勇輔氏



宮治 勇輔氏